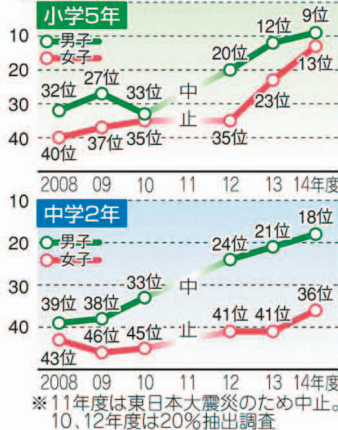


年	組	名前
---	---	----

小5と中2の全員を対象に実施した2014年度体力テストの結果が公表されました。

全国体力テストの大分県の順位推移(県教委集計)



## 全国体力テスト

文科省は「運動習慣が...」と成績が上がる持久走などが、投げる動作にはこつが

文科省は29日、小5と中2の全員を対象に4〜7月に実施した2014年度全国体力テストの結果を公表した。ボール投げと握力が小中の男女とも2008年度の調査開始以来、最低となった。一方で8種目のうち小5男子が4種目、小5女子と中2女子は持久走など5種目で過去最高を記録。種目によって得手不得手が鮮明になった。

# ボール投げ過去最低

あり、記録を伸ばすには小さい頃からの経験が必要。短期間では難しい」と分析している。

8種目の数値を得点化した体力合計点(80点満点)の全国平均(国公私立)は、小5男子が53・9点、小5女子55・0点、中2男子41・6点、中2女子48・5点

上体起こし、長座体前屈、反復横跳びの3種目は小5男子と中2女子で過去最高を記録。20メートルランは小5男子、50メートル走は小5男子と中2女子、持久走も中2女子で最も高くなった。一方、過去最低の種目は握力とボール投げが小中の男女、立ち幅跳びが小中の男子、長座体前屈の中2男子だった。

実技以外の質問紙調査では、運動やスポーツが「好きか嫌い」か「得意か得意でないか」を尋ねたところ、小中の男女とも「好き」「や好き」と答えた割合が昨年度より増え、「得意」「やや得意」は全てで過去最高となった。

体育の授業を除く1週間の運動時間が「ゼロ」は、昨年度は23・9%だった中2女子が14・8%に改善し、小中の男女と中2男子でも減った。ただ、質問文を更替したため文科省は「単純比較はできない」としている。

**全国体力テスト**  
正式名称は「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」で小5と中2を対象に毎年実施。実技は8種目。握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、50メートル走のほか、小5はソフトボール

投げと20メートルラン、中2はハンドボール投げと、シャトルランか持久走を選択する。運動習慣や生活習慣も調査する。これとは別に、体育の日に合わせて1964年度から毎年実施している年代別の抽出調査もあるため、調査項目が重複しているとの指摘もある。

## 大分県 小5男子九州1位 女子も2位に躍進

文科科学省は29日、小学5年、中学2年を対象に実施した本年度の全国体力テストの結果を公表した。県教委によると、県内は小5男子が全国9位九州同36位(同6位)で依然として

小5男子は課題だった連続の腹筋運動「上体起こし」が伸び、初めて全種目で全国平均を上回った。女子は立ち幅跳びなどが改善し、6種目で全国平均を上回った。昨年度の全国23位、九州4位から「躍進」した。中2男子は全国順位が18位と前年度より3位上げたものの上体起こし、50メートル走の柔軟性をみる「長座体前屈」など4種目で全国平均に届かなかった。女子は

県内では昨年度から授業以外に、休み時間の外遊びなどを通じて体力向上に取り組む「二校一実践」を小中高の全校で導入している。県教委体育保健課は「小学校では取り組みが普及してきた。授業時間が増える中学校で、部活動をしない生徒らの運動時間をいかに増やすかが課題。方策を考えてみよう」としている。

①大分県内の小学5年の順位は、男子、女子それぞれ全国何位でしたか。

②1週間当たりの平均運動時間は、小5男子、女子それぞれ何時間何分でしたか。

③さらに結果が良くなるために、こういった取り組みがあると思いますか。考えてみよう。